

議会だより



飛驒市の次世代を担う
249 名の若者が誓いを新たに
成人式を迎えました
(飛驒市文化交流センター)

12 月定例会	2
Q&A	3
常任委員会県外調査報告	4
意見書・3 月定例会日程	5
一般質問	6 ～ 11
市民の声・編集後記	12

12 施設の指定管理者を指定

2 億 7 千 6 百万円の一般会計補正予算を可決

十二月定例会が、十二月二日から十七日まで開催され、二億七千六百万円余を追加する本年度一般会計補正予算や条例改正など二十四議案を原案通り可決しました。更に市民病院での損害賠償に四百六十万円余を支払うことや、消防指令システム整備工事の請負契約締結についての二件を追加提案し、原案通り可決しました。

補正予算の主なもの

- 地域経済活性化・雇用創出臨時交付金基金 一億円
- 宮川振興事務所庁舎整備 九百四十一万円
- 三世代同居世帯等支援補助 三百十万円
- 総合行政システム導入事業 一千二十万円
- 保育士等処遇改善特例補助 二百四万円
- 神岡農免道路整備の負担金 二百九十五万円
- 木質燃料ストーブ購入補助 百万円



薪ストーブ

- 経営合理化資金利子補給 五百五十万円

条例の制定と一部改正

- 飛騨市税条例の一部を改正
・地方税法の改正に伴う改正
- 低開発地域工業開発地区の指定に伴う飛騨市固定資産税の特例に関する条例を廃止する条例
・固定資産税特例適用期間の終了に伴う廃止
- 農村地域工業等導入促進法

に係る飛騨市固定資産税の特例に関する条例を廃止する条例
・固定資産税課税免除の特例制度が廃止されたことに伴う廃止

- 飛騨市積立基金条例の一部を改正
・飛騨市地域経済活性化・雇用創出臨時交付金基金の新規設置に伴う改正
- 急傾斜地崩壊対策事業分担金徴収条例の一部を改正
・急傾斜地崩壊対策事業分担金の事業区分の追加に伴う改正

指定管理者の指定

- 古川トレーニングセンター
指 びだチャレンジクラブ
- サン・スポーツランドふるかわ・古川町森林公園
指 飛騨市森林組合
- 飛騨市黒内屋内運動場
指 飛騨市黒内屋内運動場
- 星の駅宙ドーム・神岡
指 協スカイドーム・神岡
- 飛騨古川桃源郷温泉ぬく森の湯すばーふる
指 飛騨市古川
- 古川総合交流ターミナル施設
指 飛騨市古川



森茂牧場管理棟

- 飛騨市古川味処施設
指 味処古川協会
- 飛騨古川まつり会館
指 起し太鼓の里協会
- Mプラザ・流葉オートキャンプ場・自然休養園
指 大阪緑風観光(株)
- 古川町農産物直売施設
指 三寺めぐり朝市
- 森茂牧場
指 飛騨市和牛改良組合
- 飛騨河合飛騨牛繁殖センター
指 飛騨かわい牧場



冬の古川

二十五年度補正予算 予算特別委員会 Q&A

総務部

Q LED 防犯灯補助金が100万増。件数は何件分か。

A 476灯で288万9千円。1灯平均6千円強の補助。現在の予算残が11万。残り4ヶ月の概算で計上。

Q LED 1灯あたり上限7千円補助。防犯灯はどれくらいあるのか。

A 昨年の数字で3646灯。LEDの申請状況はどうなっているか。

A 古川15件217灯、河合12件69灯、宮川5件25灯、神岡23件167灯。

Q LED化でマイマイガの被害を少なくするPRは。

A 省エネ推進の補助事業で、マイマイガ対策については、特にPRは行っていない

Q 耐震診断の進捗状況は。

A 実施前の基本を依頼。神岡振興事務所は耐震の方向性を検討。

Q 10周年記念で150件表彰。人選の基準は。

A 該当者を区長及び市役所

の各部から推薦を受け、市の表彰審査委員会で最終決定した。

消防本部

Q 消火栓改修があるがどこか。

A 神岡町船津八幡地内。蟻川公園内の消火栓が老朽化したもの。

市民福祉部

Q 保育士等処遇改善臨時特例事業費補助金とは。

A 人材確保のため導入された補助金。私立保育園に対して交付。指定管理も含め公立保育園は対象外。

Q 公立と私立とで賃金に差があるのか。

A 全国的な統計から私立のほうが給料が低い。

Q 臨時保育士、嘱託保育士は何人いるのか。

A 臨時17人。嘱託11人。日々雇用6名。

Q 保育士を正規職員にできない理由は。

A 保育人数が毎年変わるの

で臨時で対応。

Q 福祉タクシー、利用料が高額になった。

A 外出支援サービス事業との整合性を検討中。

Q 高山日赤医療機器整備補助金、3市1村の負担割合は。

A 利用回数と均等割り。詳細は調整中。医療機器などにかかる経費は、3億数千万円。

教育委員会

Q 神岡町公民館。直営化により使用に影響はあるのか。

A これまでと同様に使える。文化財保護費。単価設定はあるのか。

A 面積単価はない。密度と土量による。

Q 文化財発掘関係で、住宅の建てる時の影響は。

A 保証は何にもない。施主の負担が増えないよう対応している。

Q 月末の図書整理日。必要か。

A 対応を内部で検討中。2月から試験的に実施を予定。

Q 神岡小学校トイレ改修の設計。内容は。

A ウォシュレット付の洋式。52基の全てを改修予定。

環境水道部

Q 松ヶ瀬代行手数料の増加。原因は。

A 家屋の解体などによる粗大ゴミの増加が原因。

Q 松ヶ瀬の粗大ごみ手数料も増加しているが。

A 粗大ごみ7200kg。河合・松ヶ瀬とも若干増えている。

Q 無料回収所が閉鎖しているがその影響か。

A 市内に1ヶ所あり、取扱量は不明。

Q 共同安置所ができないか。

A 無縁墓は古川で2件あり、検討していく。

Q 元田簡水の直径と延長は。

A 延長880m。口径は50mmと75mm。

農林部

Q コメ政策の見直し。来年の作付けは。

A 減反廃止は5年後、生産調整はしばらく続く。

企画商工観光部

A 葉草シンポジウム。来客人数の予定は。

Q 交流センターで開催。700名予定。うち宿泊

200名。

Q まつり会館の指定管理。理事長が井上市長であるが問題ないのか。

A 疑問を持たれるようなことはない。ほかに応募もなかった。

Q 総合行政システム。機器は新規なのか更新か。

A 住民・財務・付属システムを更新。3市1村で行う。

Q パソコン48台。プリンター12台の配置は。

A 住民情報専用機のあるところ。税務・住民・水道課など。

Q 観光協会が観光課に移る理由とメリットは。

A 観光協会が市役所庁舎内に移転することで、より連携を密にする。

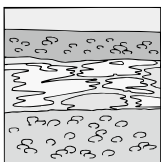
基盤整備部

Q 河川改良事業。六郎谷の事業は。

A 護岸修繕。延長10m。

Q 繰越明許の鮎の瀬橋。原因は。

A 設計業務に時間を要したため、工事を平成25・26年の施工としたい。



七尾市の定住促進等を学ぶ

総務常任委員会管外視察報告

委員長 谷 回 充希子

10月10・11日富山・石川県へ管外視察調査に行き主なものの概要を報告します。

◎氷見市民病院は医師看護師不足に伴い医業収支が悪化し不良債務が拡大、加えて病院の建物が老朽化していた。抜本的な改革をしなければ市民病院の存続が不可能な状況となっていた。市民の医療を守るため、病院経営の効率化と地域医療の維持・充実を図るため指定管理制度に移行した。

平成20年4月、金沢医科大



氷見市民病院の運営を聞く

学氷見市民病院となり民間の経営ノウハウにより自主自立の病院経営が行われ順調に推移し、23年9月には新築の病院となりました。

◎七尾市では定住促進の取組について学びました。都市生活者の移住促進やIUター

ン者に対する住宅施策が手厚く空き家バンクが創設されていました。不動産業者の仲介により円満に運営されている。また若者定住のための婚活・出会いサポート事業も行われていた。観光以外の交流人口拡大施策として教育、スポーツ合宿の推進も行われており、平成27年、北陸新幹線開業を見据えた構想も期待されていました。

◎珠洲市では空き家バンク、定住支援制度を視察。空き家バンク制度では七尾市同様、宅地建物取引業組合のサポートを得て登録物件調査や契約がなされている。空き家の売買や賃貸・空き

家短期滞在制度・空き家改修補助金制度等の要綱策定されていました。興味深かったのは短期滞在型「ちょい住み」事業で10日、20日、30日間のコースがあり、気に入った人は定住につながる可能性もある。



長野の空き家制度などを視察

産業常任委員会管外視察報告

委員長 高原 邦子

産業常任委員会では、前年度からの申し送りの懸案事項も踏まえて、調査研究項目を定めて活動しています。

平成23年に廃屋対策条例を制定し、市民の安心・安全な生活環境を希求しました。が、民間企業の調査で明らかになった市内に点在する多くの空き家の利活用が、人口減少・高齢化率に歯止めをかける上では重要であります。空き家から廃屋になることをできるだけ防ぐこと、また、高齢化に伴い、買い物弱者や交通弱者問題解決も喫緊の課題



道の駅狼煙で

であると捉え、今年度の重要調査項目を「空き家対策」「交通弱者対策」と決め議論を深めてまいりました。

管外視察先は、このテーマに沿うべく飛騨市と類似した条件の先進地を選定し、8月19日20日に管外視察を行いました。

長野県の東御市では「空き家バンク制度と新交通システム」山梨県の山梨市では「空き家バンク制度」甲州市では「新交通システム」について説明・質疑応答を行い、先進地としての事例を調査しまし



東御市新交通システムを聞く

た。空き家バンク制度を導入前の取り組みから、実施後の現況や今後の改善点等の説明を受け、飛騨市での応用への参考にしました。視察後も当委員会では議論を重ね、議会基本条例に則り「空き家対策について」を議員全員による政策討論会を経て、市に政策提言をする予定にしています。買い物弱者・交通弱者問題に対応するため、新交通システムについては、視察で得られた調査項目の他、神岡町内で実施されたアンケートの結果や、巡回バスの利用状況を精査し、より市民の要望に沿うためにはどのように取り入れるのがよいのかを更に検討に加えて議論しているところです。

平成 26 年度税制改正における地方税財源の充実確保 について自民党税制調査会へ要望しました

平成 26 年度税制改正における地方税財源の充実確保に関する要望書

地方財政は、社会保障関係費などの財政需要の増加や地方税収の低迷等により、厳しい状況が続いています。

こうした中、基礎自治体である市が、住民サービスやまちづくりを安定的に行うためには、地方税財源の充実確保が不可欠です。

平成 26 年度税制改正に関しては、かねてから検討されていました「償却資産に係る固定資産税」に加えて、自動車取得税・自動車重量税をはじめとする地方税財源のあり方が焦点となっています。

当市におきましても償却資産に係る固定資産税・自動車取得税・自動車重量税は重要な財源であり、特に償却資産に係る固定資産税は当市における固定資産税収入の約 4 割を占めており、代替財源を確保しない限り当市の財政運営に多大な支障を与えることとなります。

つきましては、下記のとおり「平成 26 年度税制改正における地方税財源の充実確保」につきまして要望いたします。

記

- 1、固定資産税は、市町村の基幹税であるため、その安定的確保を図ること。
特に、償却資産に係る固定資産税は、税収が 1.6 兆円程度で安定的に推移しており、仮に廃止・縮小されるようなことがあれば多大な影響が生じることから、「機械及び装置」に係る課税を含め、現行制度を堅持すること。
- 2、自動車取得税・自動車重量税の税収のうち 5,000 億円程度は、地方自治体の貴重な税財源となっている。このため、代替財源を確保しない限り、市町村への財源配分を含め、現行制度を堅持すること。
- 3、ゴルフ場利用税は、ゴルフ場所在市町村の財政需要に対応した貴重な税財源となっていることから、現行制度を堅持すること。
- 4、地球温暖化対策において地方自治体が果たしている役割を踏まえ、地球温暖化対策譲与税を新たに創設するなど、地方税財源を確保すること。

平成 25 年 12 月 2 日

岐阜県飛騨市議会

十二月定例会までの
請願・陳情等の状況

陳情 9	木材の利用推進に関する要望書	受理報告
陳情 10	建設技術職員の適正な配置と技術力の向上に関する要望	受理報告
陳情 11	飛騨地鶏事業における補助金制度の新設について	受理報告
陳情 12	地球社会建設決議に関する陳情書	受理報告
陳情 13	飛騨北部道路整備促進に関する要望	受理報告

3 月定例会の予定

議会の傍聴にお越しく下さい

2 月 25 日（火）本会議（開会、提案説明）
3 月 5 日（水）本会議（一般質問 1 日目）
6 日（木）本会議（一般質問 2 日目）
7 日（金）本会議（一般質問 3 日目）
10 日（月）予算特別委員会（補正）

11 日（火）常任委員会
12 日（水）予算特別委員会 1 日目
13 日（木）予算特別委員会 2 日目
17 日（月）予算特別委員会 3 日目
19 日（水）本会議（委員長報告、質疑、討論採決、閉会）

※日程は変更される場合があります。

問 「飛騨市子ども・子育て会議」の目的と内容・今後の計画は

答 乳幼児期の子育て支援センターと保育園・小学校の放課後児童クラブの充実を図る



中嶋 国則 議員

問 昨年8月に成立した「子ども・子育て支援法」により、5年を1期とする教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の

提供体制の確保をするために「飛騨市子ども・子育て支援事業計画」を定めなければならない。計画の策定・実行するため「飛騨市子ども・子育て会議」を立ち上げたが進捗状況は

◆谷澤市民福祉部長

答 12月3日に第1回飛

問 ①芝生グラウンドゴルフ場の建設を②400mトラックの陸上競技場建設を

答 芝生広場等既存施設の利用を検討する。400mトラックの陸上競技場の建設は困難

問 ①高齢者の健康ス

ポーツとして、近年グラウンドゴルフが盛んである。

老人クラブ会員の交流の場であり、健康づくりに繋がる専用グラウンドゴ

ルフ場を建設する考えは。②400mトラックを備えた陸上競技場の建設は出来ないか。

◆市長

◆石腰教育委員会事務局長

問 「古川朝霧街道」の冬季通行対策を

答 道路パトロールの頻度を増やし、機械除雪・融雪剤散布の実施。杉林の伐採検討を行う

問 ①小鷹利トンネルの中野区側が凍結により、坂道で大変危険なため、通行が減少している。通

行の安全確保を求める。対策として、杉林の伐採をされたい。

◆川瀬基盤整備部長

騨市子ども子育て会議を開催した。メンバーは、15名。会議の目的は、乳幼児期の子育て支援セン

ターと保育園・小学校の放課後児童クラブの充実を図ることにあり、市民の要望・意見を出来る限り事業計画に反映する。

市民ニーズ調査として、

0才から小学校4年生のお子様をお持ちの保護者1236名を対象にアンケートを年内に実施し、2月に第2回子ども・子育て会議を開催し議論を深める。

答 ①芝生グラウンドゴルフ場の建設は、既存の遊休施設の利用を検討している。②400mトラックを備えた陸上競技施設の建設は、困難である。

答 道路パトロールの頻度を増やし、機械除雪・融雪剤散布を行い更なる安全確保に努める。

杉林の伐採は、所有者の了解を得て補助メニューを調査し実施に向けて検討する。

問 高校の魅力化プロジェクトについて

答 県と相談して魅力ある学校づくりを進めていきたい



後藤 和正 議員

問 島根県立隠岐島前高校を視察した。少子化はもとより将来の可能性で高校から地域を離れてしま

いH10に70人いた入学生がH20には28人に減少し、統廃合目前となった。そこで高校がなくては地

域の存続はあり得ないと町ぐるみで県に働きかけ、地域企業化的精神を持った若者育成を目標として全国から生徒を募集した。

その結果、県外からの志願者も含めてH24には59人となり、異例の学級増で40人定員が80人に倍増された。今年の高校見学は140名が訪れた。

飛騨市も県とタイアップして学力も人間力も伸

問 オリンピックの事前キャンプ地誘致と海外への観光アピールを

答 キャンプ地として優位性がある 受け入れ体制整え観光PRしたい

問 全世界に飛騨市の魅力を発信し、オリンピックが終わっても飛騨市に残るものがほしい。

そこで事前キャンプ地誘致とオリンピックを奇貨として、海外に向けた観光アピールを。

◆市長

◆柏木企画商工観光部長

答 開催直前には各種競技の参加国チームが全国各地で調整合宿するとみられ、人気種目であるサッカー競技のキャンプ地となれば知名度アップ。近年のプロチーム受け入れでキャンプ地の実績は他より長じている。

自然環境面と天然芝グ

びる教育ブランドを築くことで若者の流出を食い止め、U・ターンに繋げることが望まれる。将来を見据えての大胆な高校魅力化プロジェクト構想に対する見解を伺う。

◆白川副市長

答 H20地元2校が定員割れし危機感を持った。魅力ある地元高校づくり推進会議を立上げ、高校の魅力PRを支援してきた。両校を、地元に残したいという強い気持ちを持って、今後県の教育委員会と相談し、両校の魅力ある学校づくりを進めていきたいと考えている。

ラウンドの施設面での優位性があるが、なにより住民の理解と民間主導による機運の醸成も必要で関係の皆様と検討する。

オリンピックを見据え、アジア圏ばかりではなく欧米各国へも対応できる受入れの素地が必要と考える。カード決済や言語対応能力を高める施策を展開し体制を整えて飛騨市のPRをしていきたい。

一般質問

問 滞在型観光誘致と飛騨市のファンづくりを考えられないか

答 「まちづくり協議会」の各部会で開発について



谷口充希子 議員

問 観光客が年々減少しています。人・コト・モノについて提案し尋ねま

問 飛騨市の児童虐待防止の現状はどうなっているか

答 増加傾向にはあるが、関係機関と連携を図り、対策・対応にあたっている

問 年々増え続ける児童虐待は社会的問題となっ

ており、虐待の80%以上が実の父母からのものです。地域の中でいち早く見つける事が重要で市の

現状を伺う。

◆谷澤市民福祉部長

答 平成20年から25年今日までで29件の相談件数となっており、福祉課が相談窓口として対応して

問 子育て支援の前段階の妊娠適齢期の知識「卵子の老化」教育はなされているか

答 成人式にチラシを配布し情報提供・啓発普及に努めている

問 国の少子化危機突破部会の提案の中に妊娠出

産に関する情報提供・啓発普及を掲げている。晩婚化や高齢出産が進む中で「卵子の老化」や「高

齢出産の母体リスク」「精子の状態改善」をどのように情報提供しているか。

◆谷澤市民福祉部長

答 情報提供の場として成

の館を作り滞在型のしくみづくりはどうか。

◆柏木企画商工観光部長

答 ①物的・人的交流を進めるが、特定都市提携は考えていない。

②「観光誘客まちづくり・地域活性事業策定業務」の中でも検討していく。③専門業者の外部視点を取り入れて開発していく。

いる。夜間休日については、担当職員に連絡がいく体制ができており、職員は知識修得のため実務研究会に参加し自己研鑽に努めている。また関係者による会議や適時個別検討会議も行っている。



人式が適している事から、平成25年1月の成人式に「卵子にも老化があります。意外と短い妊娠適齢期」について説明しているチラシを出席者全員に配布した。引き続き26年の成人式にも配布し啓発に努めたい。

問 ①飛騨市「水害・地震・火山噴火」防災対策について

答 各関係機関と連携し情報の共有化を図っている



菅沼 明彦 議員

問 ①高山地区・清見地域にダム建設の必要性は

②焼岳火山噴火対策は

③他市町村との災害時総合応援協定は

④水力発電ダムの安全管理

理は

⑤各ダムとの緊急連絡対策の組織は

⑥関西電力・北陸電力と

重大事故を想定した連携・合同訓練等の取り組みは

⑦土砂災害特別警戒区域の解除・堰堤等進捗は

◆市長

◆小倉総務部長

も宮川本川の流下能力の向上とダムによる治水対策を岐阜県に要望する。②気象庁・大学・国土交通省等により各種監視・観測施設が設置され監視体制がとられている。飛騨市は今年6月焼岳火山噴火対策協議会に加盟し、関係機関と連携し情報収集と共有化を図っている。③消防総合応援協定は3市と締結しているが、東京都葛飾区以外の自治体との応援協定が必要かどうかについて他市の実態例を踏まえ調査研究したい。④ダム施設の安全管理は国ならび所有者の電力会社で行われている。具体的な安全管理の手法等詳細については、経産省の監督下で、施設ハード面の安全管理が行われているとのことで、市は手法等詳細については分かりかねると伺っている。今後

届き、直ちに市災害対策本部を立ち上げ、迅速かつ的確な行動を開始する組織を作成している。⑥ダムの安全性は確保されており、ダムが決壊した場合のシミュレーションは行っていないが、関西電力からはダム施設での油の流出訓練等、去年から、年一回地震・水害等による大規模災害時の事務局レベルの会議を持っている。⑦砂防事業では平成22年度に古川町高野地内高野川が、今年度には古川町袈裟丸地内本道洞、神岡町堀之内地内小洞谷が完成予定。現在の事業箇所は古川町地内岡前谷・七郎谷、宮川町地内牧戸谷、河合町地内出しヶ谷、神岡町地内寺ナギで実施中。急傾斜地崩壊対策事業では、河合町地内池田、古川町地内下野で実施している。完了箇所については指定地区の一部または、全解除に向けて手続きが進められていると伺っている。

問 26年度予算編成の方向は

答 守るべきは守り、攻めるべきは攻める



森下 真次 議員

が、26年度予算編成は、どのような方向で進めるのか。

◆市長

問 ①さらなる元気な飛騨市の実現を期待する

答 人口減少・少子化対策、労働力の減少など多くの課題に対応し、継続

問 コメの生産調整廃止の影響は

答 農業の産業としての競争力強化を目指す

問 ①コメの生産調整（減反）を廃止する等の動き

力する。

があるが、市への影響を問う。②さらなる農業振興を図るため、農業支援センターを4月に設置した成果は。

今後、農業の産業としての競争力を強化することが最重要課題であるとして認識している。

市内をみたとき、個々の農家が分散した農地を細々と耕作する農地の利用形態が、専業農家の規模拡大や、競争力の強化を阻害する大きな原因になっている。

◆藤井農林部長
答 ①廃止は5年後なので、当面の間は、従前どおり飛騨3市1村地域全体での数量目標達成に向け、国の戦略作物である飼料米等への転作を奨励するため主食用米と遜色ない価格となるよう、産地資金単価の上乗せに努

め、26年度予算編成は、どのような方向で進めるのか。

が、26年度予算編成は、どのような方向で進めるのか。

今後、農業の産業としての競争力を強化することが最重要課題であるとして認識している。

市内をみたとき、個々の農家が分散した農地を細々と耕作する農地の利用形態が、専業農家の規模拡大や、競争力の強化を阻害する大きな原因になっている。

◆藤井農林部長
答 ①廃止は5年後なので、当面の間は、従前どおり飛騨3市1村地域全体での数量目標達成に向け、国の戦略作物である飼料米等への転作を奨励するため主食用米と遜色ない価格となるよう、産地資金単価の上乗せに努

問 まちづくり協議会の進捗状況と瀬戸川沿いの道路改修について

答 交流と景観部会の取り組みが先行。住む人、訪れる人が魅力を感じる道に



野村 勝憲 議員

問 コーンスーパの発売

やわらび粉づくり体験ツアー等発信力ある山之村にまちづくりのヒントが。①まちづくり協議会が発足し2年目。特産・交流・人材・定住・景観

部会の進捗状況と委託したコンサル名と業務内容は？②馬籠宿の石畳は生活する人の利便性と観光客に宿場の風情を醸し出す等二面性を持ち、木曾石と御影石を敷き詰めた石畳の坂道を売りにしている。瀬戸川沿いの道もこれを参考に進めたら？

◆柏木企画商工観光部長

答 ①現在特産開発・人

問 祭り・朝霧・雪等この地域ならではの資源を磨き、人を呼び込む新しい観光商品を提案

答 新しい旅行商品開発等で観光消費のアップにつなげていきたい

問 ①2年後に北陸新幹線が開通。その年に古川

もっとアピールし滞在型観光の推進を図ってゆく。

祭りが全国の屋台と共に世界無形文化遺産の登録になる可能性大と聞きます。これを機に高岡・犬山、津島市等と連携し「祭り街道」として売り込む。

③冬の水族館はペンギンのパレードが人気。そこに飛騨市の雪を届け観光面で提携し、将来その地域と交流を図ってゆく。

◆柏木企画商工観光部長
答 ①JTB中部が半田山車まつり、犬山祭り、大垣祭り、古川祭り、高

岡市の御車山祭りの5市を結ぶルートの商品開発を進めている。今後も地域資源を活用した旅行商品づくりに努めていきます。②市観光協会が10月に朝霧とご来光を楽しむツアーを企画。今後新しい商品づくりを支援し、市内の宿泊者増につなげたい。③飛騨市の地域資源である雪を活用することには賛成であり、又PRにもつながり、今後に期待したい。

材育成・定住促進部会は単独の活動は行わず、交流促進は部会を9回開催、4地区の集客や収益分析とモニターツアーの企画や催行等。景観形成部会は4回開催、講師を交え古い町並み景観の討議。委託はリクルート系で主な業務は地域資源の開発・観光客の動態調査・観光商品の販売方法等。

②道路改修は地域住民の声や合意形成を図り、提案の馬籠宿の舗装も参考に進めます。

岡市の御車山祭りの5市を結ぶルートの商品開発を進めている。今後も地域資源を活用した旅行商品づくりに努めていきます。②市観光協会が10月に朝霧とご来光を楽しむツアーを企画。今後新しい商品づくりを支援し、市内の宿泊者増につなげたい。③飛騨市の地域資源である雪を活用することには賛成であり、又PRにもつながり、今後に期待したい。

一般質問

問 歯科保健向上の「8020運動」の成果あるとくみ

答 歯周疾患検診受診率向上を目指すことも各世代に応じた支援を今後も実施する



籠山恵美子 議員

問 市民の健康推進や介護予防、医療費節減に効果があるとして国は、

問 非正規職員の使い捨てをやめ、待遇改善を

答 正規採用は大きな財政負担。今後は数の見直しや待遇改善を進める

問 市には臨時、嘱託など多くの非正規職員がおり、職員総数の42%を占めている。特に保育士、司書、調理員など女性の多い現場では、正規、非正規の違いを超えた労働をしている。しかし給与や福利厚生面で、また雇止めがあるなど非正規と正規職員の格差は厳然としている。

非正規職員も市民サービスに携わるだいたいな人材であり、生活のかかった市民だが、最長5年で

えない。政策としてとりくみ、実績の上がる対策に力を集中すべきでは。

◆谷澤市民福祉部長

答 市では乳幼児から小・中学生、妊婦などを対象に歯科検診を行っているが、40・50・60歳を対象とした歯周疾患検診の受診率が低い。そのため、新たな事業実施ではなく、既存の事業の周知と利用促進に努める。

して対応をしているのが現状です。正職員として起用すると大きな財政負担となり、加えて職種の特殊性から配属や異動が限られ、民営化の動きからも困難である。賞与、通勤手当などは他市に比べ悪い待遇ではない。

しかし今後は、正職員と臨時職員の数の見直しや待遇改善を進め、市政の確実な運営を進めていきたい。

（その他、生活保護基準引き下げの対策と、基金保有額の適正化について質問しました。）

問 資源ごみの神岡中継施設を残されたい

答 一極集中で経費節減と効率化を図る



山下 博文 議員

問 現在は神岡町には一箇所の中継施設がある。平成26年に新リサイクル

問 職員の代休は適切に処理されているか

答 実態を把握し代休の放置とならないよう努める

問 先般県内の自治体で超過労働の実態が報道された。その自治体は、サー

ビス残業があったことを認め今後は適切に対応す

問 男女共同参画で何を指すか

答 男女がともに働きやすい社会環境づくり

問 男女共同参画社会実現のため、地方公共団体はその地域特性に応じた

施策を策定し実践するとある。飛騨市は平成18年に基本理念と計画を定め

センターができると、すべての中継施設は廃止の計画である。冬の季節に神原峠を越すことは危険を伴い大変である。区長会でも要望が出されており、是非とも今の施設を存続されたい。

るとしている。残業時間を把握し代休制度は適切に取得させているか。

◆小倉総務部長

答 職員数の減少により

た。しかしながらその進捗は低調である。飛騨市がめざす計画は何か。

◆柏木企画商工観光部長
答 基本理念は、お互いを認めあい、支えあい、

◆岩塚環境水道部長

答 新リサイクルセン

ターが完成すると、既設の河合資源リサイクルセンターは廃止し、神岡の業務等も新施設で実施することとなる。なお、粗大ゴミ等をご自分で運搬できない方には、市が許可を出している一般廃棄物収集・運搬業者に依頼していただくなどの対応をお願いしたいと考えている。

職員一人ひとりの負担が増加していることは間違いない。時間管理の見直しや管理職が業務の進捗を管理しやすくする体制を整え、時間外勤務の正確な把握と、代休の放置とならないよう努めていきたい。

担いあうまちづくり、やさしさと思いやりで築く男女共同参画社会です。計画は男女がともに働きやすい社会環境づくり、男女共同参画による豊かで活力ある地域づくりを基本計画の内容としている。

問 神岡公民館の直接管理の移行について

答 教育委員会が生涯学習施設の拠点として公民館の管理運営を行う



洞口 和彦 議員

問 8年間指定管理された神岡商工会議所は、関係機関や各種団体と連携して、町づくりや観光振

問 宿泊施設を含む学園都市構想の策定について

答 研究者・事業者・市民代表で懇話会を開催し今月まとめの作業

問 「かぐら」のYアー

ムトンネルが貫通し、平成29年研究開始にむけて

データ収集棟の建設も急ピッチで進んでいる。

①懇話会の進展具合は？

②学園都市構想の作成見通しは？③市道跡津線整

備改良の見通しは？

◆ 柏木企画商工観光部長

◆ 川瀬基盤整備部長

答 ①②研究者の住環境整備や、過疎化の進む地域の活性化を目的に策定を進めている。交通ア

クセスや買い物救済の整

問 除雪ボランティアについて

答 通常除雪路線の指定のない生活道路の除雪を除雪ボランティアで

問 綱領では、助成が有効に使用され簡単に利用できるようにすることが

重要①綱領の内容②受益件数変更は③写真の提出の意味は

あり方は

◆ 石腰教育委員会事務局局長

答 ①教育振興係が直接

公民館の管理運営を行う。神岡商工会議所の事務所移転は未決定②生涯学習をさらに充実するために教育委員会で管理運営。運営費・事務費で約60万円、人件費で約50万円節減③公民館講座を始め、シルバー学級、家庭教育学級等の各種講座の充実を図る。

備。体験型学習施設や宿泊可能なセミナーハウスの設置。定住にむけての

住環境の整備を盛り込む③トンネルを含む延長

880mの区間を過疎地域自立促進特別措置法に基づき県代行業業として

進めている。現在、用地取得が難航しており努力する。

◆ 川瀬基盤整備部長

答 ①飛騨市全体を対象

のため綱領を策定②一戸では受益を受けるため自ら行う除雪と同じ③できる限り負担軽減を図る。

問 合併から10年、土台の上に建てるものは

答 27年度の後期実施計画で土台の上に華を咲かせたい



池田 寛一 議員

問 飛騨市が誕生してからやがて10年が経過しようとしている。

私たち議会もこの10年

の節目を機に、会派の違いを超え、市と一丸となつて重要課題に取り組まなければならぬと考えている。なぜなら、飛騨市の人口減少は過去の予測をはるかに上回るスピードで進行しており、合併当初3万人を超えていた人口は現在2万6千3百人、10年間で約4千人の減少となった。そして民間の調査では市内の空き家の数は747戸に達している。さらに高齢者のみの家屋を含めると、近い将来の姿が容易に予測することが出来る。特に飛騨市の心臓部で

ある古川町・神岡町の中心市街地における空き家の増加が顕著であり、一方では周辺地域において廃屋となった家屋が点在するなど、将来に大きな不安を抱かせている。

市長は合併10年で、学校の耐震化や可燃ごみ焼却施設等の整備も完了し、土台作りができたと話されているが、合併10年で築いた土台の上にどのような柱を建て、どのような造作が行われていくのか。また、間取りはどのようなになるのか、各部屋にはどのような機能があるのか、市長が目指すこれからの飛騨市の姿を市民に説明願いたい。

◆ 市長

答 飛騨市が発足する際

に、「新まちづくり計画」が作られた。この計画を実現するために、第二次総合計画を作成し、前期実施計画が26年度で終了

する。来年度は27年度以降の後期実施計画の作成をすることとなるが、私は前期実施計画が、その土台作りだと考えてきた。すべての産業は、従来型の手法では通用しなくなった。原因は様々であるが、一口で説明すれば、社会構造が大きく変化したからである。従って大胆な産業構造の転換を図らないと生き残れなくなっている。

この課題について、これまで現状認識ができていなかった。私は、これらの課題を解決するに当たり、まず皆さんと現状を共有し、解決の方向性を示すことが土台だと思っている。そして、その方向性は「現状を変える」ことである。27年度から始まる総合計画の後期実施計画では、この土台の上に華を咲かせたいと考えている。



問 可燃ゴミ袋をもっと小さく

答 新年度から更に小さい袋を導入する



高原 邦子 議員

問 可燃ゴミの量が分別の徹底化や人口減少で減少している。高齢者や单身世帯に於いては「小」

の袋を貯めるのにも日数を要する。更に小さな袋を作れないか。

また、冬季のゴミ出しは危険であり困難者のためには、福祉の考えを導入して、個別収集等も考えてみたかどうか。

問 ネット問題に対して教育現場での対応は

答 今日的な重要課題として、指導の充実に努めている

問 深刻なネット問題としてのいじめ・ネット中毒（依存症）・プライバシー画像の流出・リベンジポルノなどに対する認識は。また、児童生徒の使用

用に関わる実態把握や教職員の研修等は、どのように行われているか。

◆山本教育長

答 児童生徒の通信機器の所有や使用状況の実態

問 オープンデータ化に対する考えは

答 今後の推移を見守りながら検討していく

問 総務省がオープンデータ戦略の推進をしているが、取り組みの積極性の度合いで、将来地域間格差が大きくなっていく

る。飛騨市としての考えは。担当部署のやる気度は。研修等を受け人材育成に努めてもらいたいと考えは。

◆岩塚環境水道部長
◆谷澤市民福祉部長

答 高齢者世帯のための新年度施策として、現在の

の大小2種類の可燃ゴミ袋のほかに、さらに小型の袋を追加する予定。

ゴミ出し困難な高齢者は、軽度生活援助事業や高齢者在宅生活支援有償ボランティア派遣事業（あんきねつと神岡）があり、利用される会員を募集中である。

把握を通して、情報モラル教育の充実に努めている。

今後、各学校が保護者との連携によって研修を充実させ、問題の未然防止並びに早期発見・早期対応のための態勢強化を図れるよう、指導・支援・啓発に努めていく。

◆柏木企画商工観光部長

答 国の標準化システム策定を見守りながら、新たな仕組みが開発されるのを注視しつつ、検討していききたい。

問 警報発令時など異常時における小中学校の対応は

答 市内全域できめ細かな対応をする



前川 文博 議員

問 ①岐阜県立学校では、9月の特別支援学校で大

雨洪水警報発令中に生徒を1人で帰宅させ死亡事故が発生した。その後非常変災時の対応が検討

問 割石温泉の営業について

答 利用者の声を聴き対応する

問 ①割石温泉と流葉温泉は、神岡町内の公衆浴

場閉鎖時の代替施設となっている。ハッピーマンデー制度ができ、月曜日が祝日となる日が増え、流葉温泉と同じ日が休業になることが多くな

った。同時休業が発生しないように対応できないか。②最近の入浴施設にはサウナルームが設置してある。割石温泉は、

施設建設年が古く、老人福祉センターとしての営業であるが、利用者の中からサウナルーム設置の声も多くある。割石温泉も他施設と同様に設置できないか。

◆谷澤市民福祉部長

答 ①平成25年の振替休日

◆石腰教育委員会事務局長

答 ①「警報が発令された場合」「警報が発令が予測される場合」に教育委員会職員・各校長が職

場待機する。保護者への周知徹底のため、学校から保護者に緊急メール配信システム等を活用して対応している。登下校時はスクールサポーターの協力をいただき、危険箇所での見守り体制を整えたい。②「解放型学校メール」には、個人情報含まれていない。

連の方も多く、振替休館日の習慣が定着していると思われるが、今後利用者からの声を聴き、柔軟な対応をしていく。②市内には5つの公共温浴施設があり、割石温泉以外の4施設はサウナを備えている。サウナを設置することで、Mプラザの利用客が割石温泉に行くことも予想され経営に影響を及ぼすこと、また維持管理費も増加する等のことから設置する予定はない。



牛丸 昭子さん

人々のつながり

昨今、人と人とのつながりが少なくなつた様に思われます。近所で葬式があれば、班や組で男の人達は祭壇を準備し、女の人達はおときの準備と、老若かわらず協力し合い助け合い話し合いながら事を進めてきました。

時代は移り変わり、手間をか



荒川 彰二さん

自然の中で

私は、高校卒業後7年間、他県で過ごし、故郷が好きで帰つて来て33年になります。6年前に大病をしました。今では毎日の散歩が日課となる程、良くならせていただいております。そんな中、ふと自然に目をやると、四季折々に変化する山々

けずにお金で事を済ませることが多くなり、少しずつ人と人の関わり合いが無くなつてきています。

今、ボランティア活動への参加を通じて、人と人とのつながりを保てる様に、様々な人とのふれ合いを大切に、顔を知り、話が出る環境を創るため、自分の体と時間の許す限り、活動に協力できればと思っています。

古川町 牛丸 昭子

市民の声



吉實 眞里子さん

おもてなしの心

昨年度の流行語大賞にもなった「おもてなし」。身近なところではお母さんが家族の好物の料理を作るのも「おもてなし」だと思います。お母さんは家族の喜ぶ顔が見たく

てお料理を作ります。

多くの方と接する機会が多くなる「おもてなしの心」が必要。な仕事柄、お客様にとってどういったサービスを提供するのが良いかをいつも心がけています。過剰なサービスは有難迷惑になり、不足すると不満になります。家族の好物なら熟知していますが電話の向こうの方や、初めて会う方となるとなかなかそうはいきません。電話の向こうの方の顔を思い浮かべながら日々仕事に励んでいます。

河合町 吉實 眞里子



米沢 英雄さん

飛驒に戻って思うこと

平成22年に名古屋から42年ぶりに生まれ故郷の神岡に家族でUターンして来ました。故郷に帰り嬉しかったことは、一番に地域の人達が歓迎会を催し、地域の仲間として

暖かく迎えてくれたこと。二番に生まれて初めて栽培したお米や野菜がおいしく実って収穫できたこと。三番に人情が厚く水と空気がおいしいことです。残念なことは学校を卒業し神岡を離れた同級生が近年定年を迎えたのに自然豊かで住みやすい神岡に戻る人がいないこと。人口減少に歯止めがかからない現在、もう少し早い時期にUターンの促進につながるよい施策があったのではと思う今日この頃です。

神岡町 米沢 英雄

編集後記

本年2月1日、飛驒市は合併10周年を迎えた。旧吉城郡で長い歴史を一緒に共にした2町2村であり、行政運営の違いも合併調整事項を擦り合わせて一緒にになった飛驒市だが、地域文化が違うように市民の考えや声も微妙に違っていた。今までの10年は、市民生活に必要な施設整備を中心としたまちづくりであった感じが強い。これからの飛驒市に必要なことは、本当の意味で市民生活が充実し、活力が生まれるまちづくりが必要だ。閑話休題、毎年暮れに世相を表すその年の漢字が発表される。ここ10年は、災・愛・命・偽・変・新・暑・絆・金、そして記憶の新しい昨年は輪であった。希望を感じる文字と不安を感じる文字が交互に並ぶ。飛驒市の10年を漢字で表せば何だったか？いや、過去の振り返りはやめてこれから10年を表していきたい。私は真や信、飛や弾など明るい漢字が並んで欲しいと願う。

(福田 武彦)